

# いっしょに阿武山で活動しませんか？

京都大学 防災研究所 阿武山観測所

## 「サポーター制度」のご案内

(2016年7月現在)

※この制度の詳細は、随時更新しています。状況に応じて参加ルールなどを改訂する場合があります。あらかじめご了承ください。



ABUYAMA  
OBSERVATORY



京都大学 阿武山観測所は、この施設を「地震サイエンスミュージアム」として一般公開する構想を進めています。

ここでは、一般市民がミュージアム活動の運用を担い、自らが学んだことを来場者に伝えていただくシステムづくりを模索しています。このことによって、一般に開かれたミュージアムの創造と持続性を獲得できるのではないかと考えています。

この構想では現在、推進の大切な柱として阿武山の「サポーター」を養成し、サポーターの主体的な活動を推奨し、育てています。ご関心を持たれる方はぜひご参画ください。

## 1) どんな活動？

### ・「阿武山サポーター」としての活動

観測所への予約団体の受け入れや、一般公開の際にイベントの運営に携わったり、各種のプログラムを構築し、来場者に提供したりします。また自然豊かな敷地内の植物の育成や保守など、館内外でのさまざまなテーマの活動も展開されています。

### ・「サイエンス・コミュニケーター」活動

地震観測および地震学発展の歴史や、最先端の取り組みについての基礎的な知識と、合わせてそのガイド役や講師としてのスキルを身につけていただいた方は、「阿武山サイエンス・コミュニケーター」として認定し、各種のプログラムを担い、また新規開発もしていただいています。

## 2) 誰が参加できる？

「サポーター・オリエンテーション（仮称）」を受講していただき、「参加条件」（裏面参照）を満たした方にご参加いただけます。「サポーター・オリエンテーション」は希望者との日程調整の上、開催します。

### 3) 「参加条件」:

- ・原則、電子メールでの連絡、双方向の情報伝達ができること
- ・観測所に通うことができること
- ・活動が基本的に無償であることに了解いただけること
- ・個人のための活動ではなく、阿武山観測所全体の発展のための活動を、組織体制の元で推進することに賛同し協力できること

### 4) どんな頻度で?

規定はありません。個々人のご都合や希望によって頻度の多少を問わず、自由意志にて参加表明し、活動できます。(逆に、必要人数に定員がある場合、活動希望者の人数によっては、その都度調整があります。)

### 5) 「サポーター会」活動を運用するための組織編成

- ・現阿武山サポーターが協議の上、自主的に立ち上げた「サポーター会」があります。参加メンバーはこの場でサポーター活動の方向性を吟味、決定して日々の活動を組織的に展開しています。新しく参加される方も、ぜひメンバー登録ください。
- ・サポーター会は月に一度程度、自主的な定例会を持ち、情報交換とその都度の課題を掘り下げています。

#### ■今後の予定 (2016年7月現在):

阿武山観測所では、どなたにもお気軽にご参加いただける機会として、月に数日の「一般見学会」、2ヵ月に1度のセミナーシリーズ「あぶやま・まんてん地球子屋」などを開催しています。この場にてサポーター活動についてご案内差し上げます。お気軽にお問い合わせください。

お問い合わせ:

WEB サイト [ <http://www.abuyama.com> ] Eメール [ [info@abuyama.com](mailto:info@abuyama.com) ]

阿武山地震サイエンスミュージアムプロジェクト 事務局

連絡先:

京都大学 防災研究所 阿武山観測所

〒569-1041 大阪府高槻市奈佐原 944

担当: 阪口

#### ■ 関連情報:

阿武山観測所とは? <http://abuyama.com/introduction/introduction.html>

阿武山地震サイエンスミュージアムプロジェクト <http://abuyama.com/gsp/museum.html>

[次世代型稠密地震観測] 満点計画 <http://abuyama.com/manten/manten.html>

[巨大地震津波災害に備える次世代社会の研究] 減災社会プロジェクト <http://www.drs.dpri.kyoto-u.ac.jp/gsp/>